

令和4年度 第2回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年6月29日（水）15：00～16：35

2 場 所 神戸中学校会議室

3 出席者 委員：是枝徳義，林佳代子，白塚山隆彦，平子正人，
河北瑞希，北村 武，高山 剛，木村元彦（学校長）
欠席：兼丸良政，阿部雅登
教育委員会：杉谷直俊（教育支援課）
学校教職員：市川泰（教頭），樋口智己（教頭），
堀雄一（生徒指導主事），柴田怜（生徒会担当），
木本良平（生徒会担当）

4 あいさつ（委員長）

6月2日（木）に校区全体の学校運営協議会が開催でき，意見交換を行えたことはとても良かった。コミュニティ・スクールの研修会も校長版と委員長版と実施され，子どもがお客さん状態になっている実態があり，子どもに主体性を持たせる取組や，事務局体制を築いていくことの必要性などが話題とされた。また，学校を支援する地域の若手人材育成についても話題とされた。

5 報告

（1）第1回学校運営協議会実施報告書

学校長から，事務局で取りまとめた実施報告書の確認を依頼し，了承を得る。

（2）校区学校運営協議会全体意見交換（グループワーク）の概要

学校長から，事務局で取りまとめた意見交換概要について報告する。

（3）学校や生徒の様子について（別紙学校通信等）

学校長から，発行済学校通信等をもとに最近の学校生活の状況等について説明する。

6 生徒会役員との意見交換

学校運営協議会委員と生徒会役員との意見交換を実施する。

（意見交換の概要）

- ・駐輪場で自転車を停める一台一台の間隔が狭いといった声を聞くが，どうなのか。
（生徒）狭いとは思いますが，あまり気にしてはいない。
- ・いろいろな悩みなどを相談できる人はいるのか。
（生徒）相談できる人はいる。
- ・先生とのコミュニケーションはとりやすいか。
（生徒）取りやすいと感じている。
- ・生徒会に立候補した理由は何か。
（生徒）学校をもっと楽しくなるように変えたいと思った。

- (生徒) コロナ禍でぎょうじなどができなかったので、いろいろな行事を考えてみたいと思った。
- (生徒) いじめのない学校にしたいと思った。
- (生徒) 一人ひとりが楽しめる行事にしたいと思った。
- ・今、気になっていることは何か。

(生徒) 体育祭で自分たちも写真を撮りたいなと思っている。

(生徒) 下校時に、特に一斉下校の時などは。駐輪場を出た歩道で自転車が混雑し、進む方向が交差して通りにくい。

(生徒) 一人一台端末となったことで振り返りシートなどがデジタルになり、以前のがすぐに見ることができるなど便利になった。

(生徒) スマートフォンを持ち込んでいる生徒もいる。
 - ・スマートフォンは。学校で持ってきてよいのか。

(学校長) 理由があって持ってくる場合は認めており、登校したら教員に預けることとなっている。
 - ・スマートフォンは、一日にどれくらい利用しているのか。

(生徒) 2～3時間くらい利用している。

(生徒) 一旦はまるとやめられなくなることがある。
 - ・スマートフォンの使い方について、家庭で約束などはあるのか。

(生徒) 勉強をしっかりやっていたら得に言われることはない。

(生徒) 特に約束は決められていない。
 - ・スマートフォンは、どのように利用しているのか。

(生徒) TikTok やインスタなどの利用が多い。
 - ・マスクの着脱についてどのように考えているか。

(生徒) 顔を見せることが恥ずかしい。

(生徒) 給食は、グループでも食べたい。

7 協議 (学校教育活動の改善について)

学校長から、生徒会役員との意見交換や学校運営協議会委員授業参観ウィークなどを基に、学校教育活動の現状について説明するとともに出席教員から、現状について説明する。

(生徒指導主事) 生徒個々によって、大人の部分と子どもの部分といった両面の格差を感じる。

日常では、できる限り生徒の気持ちに寄り添うことを心がけ、全体で方針を統一して対応するように留意している。

(生徒会担当) 生徒が主体的に動くことができるよう、生徒の意見を取り入れ校内に壁掛け時計を設置する等の改善に取り組んでいる。

(生徒会担当) 以前より生徒の幼さを感じる時もある一方で、大人びて見えるときもあり、中学生の多感な状況への関わり方に気を付けている。

(委員からの意見等)

- ・今の生徒たちの多くが、TikTok やインスタなどばかりに時間を割いていることは気になっている。LINE グループでのいじめも心配になっている。小

学生でも自由にスマートフォンを扱う時代になっており、保護者が子どもにどのように使い方などを伝えているのか気になる場所である。

- ・保護者が意外にスマートフォンの利用にノーチェックなことが多いことに少し驚いている。

保護者としては、自由にさせる部分と押さえておく部分とのメリハリをつける必要があるのではないかと思う。

- ・スマートフォンは、高校生でも2～3時間程度は利用している。YouTubeの視聴や学習のツールになっている状況がある。
- ・今後は、端末を持ち帰ることになった時の利用状況が気にかかる。
- ・フィルタリングなどが言われているが、意外に解除されていることが多い実態にあると考えている。
- ・使用時間といったことでなく、使い方や使用内容が課題であり大切と思う。ただ単に時間といったことではなく、どのように使うかといった内容が重要と思う。2～3時間が一概に多い少ないといったことではないように思う。
- ・使い方を伝えられる大人が、子ども周りに多く必要ではないか。
- ・授業参観ウィークを通じては、1年生から3年生で授業に向かう姿勢の違いを感じた。
- ・特別支援学級では、協力学級での生活などの場面で出身小学校の違う子どもたちが、どのようにとらえているのかに目を向け、関わり方や交流の空気をどのように築いていくか考えていってほしいと思っている。
- ・同じ小学校の生徒から、関わりの輪が広がっていけばといったことも考えられる。
- ・障がいへの正しい理解が必要と考える。障がいといったことについて、中学校で学んでいってほしいと思っている。
- ・障がいを持っている子に、関わりを持てる子、関わろうとする子を広げていければと思う。
- ・道徳の授業を参観したが、ICTの活用の有無など教え方の様々であったが、グループでの協議の場をいろいろな授業で増やしていってほしいと感じた。

8 その他

(1) 危険箇所点検の実施について

学校長から、危険箇所点検の実施について協力を依頼する。

(2) 今後の主な日程について

学校長から、今後の中体連地区大会、学校閉校日、夏季休業期間中の授業日、第2回学校運営協議会委員授業参観ウィークの各日程等について連絡する。

(3) 不審者メールへの対応について

学校長から、不審者メールへの対応について連絡し、地域での協力を依頼する。

(4) 第3回学校運営協議会

次回の学校運営協議会を、令和4年9月9日（金）18時00分から開催することを確認する。